2015年度 活動計画書

2015.06.18／02

特定非営利活動法人 子どもデザイン教室
代表理事 和 田 隆 博
〒546-0035 大阪市東住吉区山坂4-5-1
TEL 06-6698-4351　FAX 06-6698-4352
MAIL info@c0d0e.com　URL c0d0e.com

目　次

子どもデザイン教室のビジョン……03

学習支援：子どもデザイン教室事業……04

学資支援：子どもデザイン基金事業……07

キッズサポーター募集要項……09

養育支援：子どもサポートホーム（個人事業）……11

子どもデザイン教室のロードマップ……13

2015年度 活動予算書……14

子どもデザイン教室のビジョン

2015年で設立8年目。子どもデザイン教室の最終目標は、①ファミリーホームの設立、②子どもデザイン教室で育った児童養護施設を退所した若者たちに子どもデザイン教室を移譲し、その子らが子どもデザイン教室を運営することです。施設で暮らした自らの経験を元に、後に続く子どもたちのために自分たちでその改善点を見いだしていく、そんなプラットホームに子どもデザイン教室がなれればと願います。そんな子どもデザイン教室が大阪の児童養護施設のそばにあれば、きっと子どもたちの環境は今よりはよくなるはずです。そのためにはまず、そのプラットホーム作りの資金を集めないといけませんし、後世に託せるだけの資金が自動的に集められるシステム作りもしておかないといけません。

これは一見、荒唐無稽な夢のようではありますが、まんざらそうでもなさそうです。先日そう思えることがありました。それは、奇数月の第4日曜日に開催する「こどカフェ　キッズサポーター説明会」でのできごとです。この会は私の趣旨に賛同し、子どもデザイン教室をご支援くださる方々を集めるための説明会です。その日はその記念すべき第１回目の日でした。その日の参加者はわずか３名。しかし、この３名の方が熱い熱い志をお持ちの方々で、毎月継続的にご寄付をくださる上、今後、様々な形で協働していこう、そんな話になりました。

こうして、その時々に素敵な方々が現れ、夢をバトンタッチしていくと、いつか夢は夢でなくなります。偶然の出会いに感謝しました。しかし、ユングだったか「偶然は必然」というように、これは決まっていたことなのかもしれません。さて、私もあと何年生きられるかは分かりませんが、こうして何か一つ、世の中の役に立つ形を残して、子どもデザイン教室ともさよならしたいと思っています。皆様もぜひご賛同ください。

子どもたちとふざけあっているとき、ふと私は、自分の理想の姿を空想していました。それは「プロフェッショナルじじい」です。プロフェッショナルじじいは、ただのじじいではありません。子どもと同じ目線で、同じ立場ではしゃぎ回るじじいです。そのなかで子どもたちにデザインで思考する術を伝えるために、想像する心と対話する心をマッチ棒のように燃やし続けるプロフェッショナルです。そして、子どもたちに明日の方向を明るく照らし続けるじじいです。今年で私も54歳。さて、あと何年生きられるか？自分の人生はそう長くはありません。これからのプロフェッショナルじじい、和田隆博にどうぞご期待ください。

特定非営利活動法人 子どもデザイン教室
代表理事 和 田 隆 博

学習支援：子どもデザイン教室事業

【子どもデザイン教室】

●レッスンの時間変更
受講生の増加と内容充実のため、レッスンを1時間ごとに分割します。

〇子どもデザインレッスン：
火曜日 16：15～17：15　幼児・小学生以上対象
火曜日 17：30～18：30　小学生・中学生以上対象
木曜日 16：30～17：30　小学生・中学生以上対象
木曜日 17：45～18：45　小学生・中学生以上対象
土曜日 09：45～10：45　幼児・小学生以上対象
土曜日 11：00～12：00　小学生・中学生以上対象
〇学生デザインレッスン：
土曜日 17：00～18：00　中学生・高校生以上対象

●レッスンの主旨
　子どもデザイン教室は、絵画教室でもなく、パソコン教室でもありません。子どもの「絵が好き！」という衝動を、創造する心に変え、努力する心を育てています。これが問題を解決する力となり、その子の将来を切り開く原動力になります。例えば、試験勉強は「点」のレッスンです。なぜなら試験はその子の人生の「点」でしかないからです。一方、子どもデザイン教室のレッスンは、その子の人生に影響を与える「線」のレッスンです。
　また、試験勉強はインプット（入力）です。いくら勉強してもアウトプット（出力）＝考えを外にだす方法を知らないと、その勉強はほとんど意味がなくなります。働かない、続かない、イヤイヤ働いている、こうした社会人がその典型です。子どもデザイン教室のレッスンが重要なのは、アウトプット＝考えを外に出す技術、つまり創造力を鍛えるからです。創造力とは面白いアイデアで世の中をよくするものです。子どもデザイン教室では、この創造力を「遊びながら学ぶ」という手法で育てます。
　なぜなら遊びの中にこそ学びがあり、諦めずに努力する心が育つからです。子どもデザイン教室のレッスンは、遊びのように見えて実は厳しい行程を子どもたちに求めます。そうした苦しさを乗り越えてこそ、子どもたちの成長があります。その成果が認められて子どもデザイン教室は、住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」で文部科学大臣賞と未来大賞を受賞しました。この「子どもの将来に本当に役立つメソッド」を引き続きお子さんにも体験させてあげてください。

●レッスンの内容
4月　キャラクターをデザインしよう（自分オリジナル）
5月　ピンバッジをデザインしよう（商品を作ろう）
6月　ポストカードをデザインしよう（コンピュータを使おう）
7月　お菓子をデザインしよう（料理もデザイン）
8月　ゲームをデザインしよう（夏の工作）
9月　絵本をデザインしよう（大きな絵を描こう）

10月　人形をデザインしよう（商品を作ろう）
11月　ポスターをデザインしよう（コンピュータを使おう）
12月　お菓子をデザインしよう（料理もデザイン）
12月13日㊐　クリスマスパーティ
1月　お店をデザインしよう（冬の工作）
2月　CMをデザインしよう（コンピュータを使おう）
3月　商品の展示と販売会をしよう（お小遣いを増やそう）
3月27日㊐　作品展示販売会

【こどキャラ教室】

●レッスンの概要

大好評の創造力・努力育成レッスン「こどキャラ教室」を本年度も開講します。人的、社会的資源の少ないお子さんにお勧めのレッスンです。

○日時：基本的に第3土曜日 13時～15時
お時間に余裕があれば、お弁当持参で12時にお越しください。皆で昼食を楽しみます。
○対象：児童養護施設・里親委託・母子生活支援施設で暮らす小学生、中学生、高校生、大学生
○参加費：受講料無料
ただし、お子さんお1人につき3,000円のキッズサポーター会員費をお願いします。

●レッスンの主旨

創造力と努力する心は、子どもが将来、生きていく上で絶対的に必要な力です。そこで、人的資源も社会的資源も少ない児童養護施設などで暮らす子どもたちに、子どもデザイン教室が長年培ってきたそのノウハウを伝授するレッスンを開講します。レッスンの内容は、基本的に子どもデザイン教室のレッスンと同じものを年12回のダイジェストで提供します。

子どもたちと制作したイラストは、当法人の支援企業である蓬莱、大阪ガス様に提供し、広報印刷物にご利用頂きます。その収益の25%は子どもたちの銀行口座に振り込み、残りの75%は子どもたちのレッスン費用に充当します。レッスン全体の目標として、子どもたちの創造力と努力する心を育て、自尊感情を高めます。また、個別の学習目標として、子どもたちの絵画・造形技能を高めます。

○主レッスン：
4月18日㊏　キャラクターをデザインしよう（自分オリジナル）
5月16日㊏　キャラクターをデザインしよう（自分オリジナル）
6月13日㊏　ピンバッジをデザインしよう（商品を作ろう）
7月18日㊏　ピンバッジをデザインしよう（商品を作ろう）
8月 8日㊏　ポストカードをデザインしよう（コンピュータを使おう）
9月12日㊏　ポストカードをデザインしよう（コンピュータを使おう）
10月17日㊏　お菓子をデザインしよう（料理もデザイン）
11月21日㊏　お菓子をデザインしよう（料理もデザイン）
12月13日㊐　クリスマスパーティ

12月19日㊏　人形をデザインしよう（商品を作ろう）
　1月16日㊏　人形をデザインしよう（商品を作ろう）
　2月20日㊏　お店をデザインしよう（冬の工作）
　3月19日㊏　お店をデザインしよう（冬の工作）
3月27日㊐　作品展示販売会

○補助レッスン：
　4月18日㊏　　5月のイラストを描く
　5月16日㊏　　6月のイラストを描く
　6月13日㊏　　7月のイラストを描く
　7月18日㊏　　8月のイラストを描く
　8月　8日㊏　　9月のイラストを描く
　9月12日㊏　10月のイラストを描く
10月17日㊏　11月のイラストを描く
11月21日㊏　12月のイラストを描く
12月19日㊏　　1月のイラストを描く
　1月16日㊏　　2月のイラストを描く
　2月20日㊏　　3月のイラストを描く
　3月19日㊏　　4月のイラストを描く

【おとなアート教室】

　毎週金曜日、おとなデザイン教室を開催しました。絵本を作る人、人形を作る人、イラストを描く人、それぞれがご自身の課題に取り組むフリータイムレッスンです。完成までしっかりサポートしました。

○おとなアートレッスン：
金曜日 19：00～20：00　大学生以上対象

学資支援：子どもデザイン基金事業

●寄付の用途定義
①子どもデザイン教室の学習支援レッスンにかかる費用の用途とする。
②自立にかかる資金の用途とする。

●目標金額
①978,000円の寄付金を獲得することを目標にする。
　個人寄付（キッズサポーター）448,000円・法人寄付530,000円
　親と暮らせない子どもたち12人分の学習資金933,120円（12人x月6,480円x12ヶ月）を
　確保することを目標にする。
②300,000円の寄贈品を獲得することを目標にする。
③こどキャラで800,000円の仕事を獲得することを目標にする。
　親と暮らせない子どもたちの自立資金200,000円を確保し、子どもの銀行口座に入金する。
　子どもデザイン教室の学習支援レッスンの学習資金800,000円を確保する。

●基金施策
○個人寄付（キッズサポーター）
・ブログやSNS更新など、Webでの情報発信
・活動説明会（こどカフェ）を定期開催し、過去単発寄付者や見込者を誘導
　　目標：年6回x6人=36人
　　ボランティアなど休眠協力者へのアプローチ
　　過去寄付者には継続型寄付への切替
　　見込者には会費3,000円を徴収

○法人寄付
・大阪ガス、阪急うめだ本店など、企業のチャリティ企画に協力
・成果報酬型の寄付営業にチャレンジ
・占いカタログギフト（寄付付き商品）にアプローチ

○こどキャラ（子どもと制作したゆるキャラ商品）
・Webでの情報発信の充実、アップセール受注体制の構築
　　Web：過去事例の掲載
　　法人：アップセールカタログの制作
　　休眠顧客へのアプローチ（住友生命、イーサポート、摂津金属工業所）
　　個人：こどキャラ年賀状の継続

・大阪勧業展に出展　10月21日㊌・22日㊍　マイドームおおさか

○寄贈品
・ふーどばんくOSAKAからのお菓子寄贈
・クリスマス会、商品展示販売会でのプレゼント寄贈

●目標978,000円の内訳

○個人寄付（キッズサポーター）：合計448,000円
・過去単発寄付132,000円（年3,000円×44人）
・Webでの情報発信136,000円
　内訳：単発寄付100,000円（年25,000円×4人）
　　継続寄付36,000円（月1,000円×3人）
・こどカフェ　合計180,000円
　内訳：単発寄付90,000円（年3,000円×10人＋年6,000円×10人）
　　継続寄付18,000円（月1,000円×8人の内の年内寄付分を試算）
　　継続寄付30,000円（月3,000円×5人の内の年内寄付分を試算）
　　継続寄付42,000円（月6,000円×3人の内の年内寄付分を試算）

○法人寄付：合計530,000円
・大阪ガス150,000円
・阪急百貨店50,000円
・蓬莱300,000円
・占いカタログギフト30,000円

○寄贈品　合計300,000円

○こどキャラ：合計800,000円
・大阪ガス480,000円
・アスト200,000円
・新規案件40,000円
・年賀状80,000円
　→自立資金200,000円
　→学習資金600,000円

キッズサポーター募集要項

●「キッズサポーター」を募集します。

『社会貢献をしたいけど、どこがいいのか分からない』という方はいらっしゃいませんか？そんなとき、未来を託す子どもたちに投資するというのはいかがでしょう？子どもデザイン教室には現在約15人の社会的養護が必要な子どもたちがレッスンを受けています。このレッスンは7～8年といった長い時間をかけて1人1人の子どもと寄り添うレッスンです。できればその子がおとなになるまで併走する心構えです。その間、創造力と努力する心を継続的に育て、自分の将来を設計するための素養を育てています。

なぜなら、親と暮らせない子どもたちは、社会的資源が圧倒的に少ないまま、概ね18歳で自立せねばならず、そのことが原因で、就職難、未保障、孤立、差別といった社会的な排除状態に置かれ、貧困の罠に陥る可能性が大変高いからです。そこで、子どもデザイン教室は、小さい頃から自分の将来を設計できる力を育てることを考えつきました。なぜなら、大きくなってから多額の税金で保障するより、小さい頃から少額の寄付で子どもたちの内なる資本を育てたほうが断然、費用対効果が高いからです。

●なぜ、子どもたちの支援なのか？

ではなぜ、子どもたちに支援をしないといけないのでしょう？それは、子どもは未来の社会を育てる「希望」だからです。皆さんのご支援があれば、自分の将来を設計できる子どもたちが社会に巣立っていくことができます。いかがでしょうか？このロマン溢れるプランにご参加頂けないでしょうか？年会費はわずか月3,000円です。1日約10円で、虐待や育児放棄、または親の離婚や病気、死別などでしんどい思いをしている子どもたちが笑顔になります。

子どもデザイン教室に通う子どもたちはわずか約23人です。しかし、その23人が親と暮らせない子どもたち全体の希望の光です。この子どもたちが山のてっぺんを高くすることで、親と暮らせない子どもたち全体の裾野がゆっくり大きく広がっていきます。皆さんにご支援頂いた子どもたちが会得した技術、体験した色やにおいは一生消えることがありません。『どうして生まれてきたんだろう？』と思っている子どもたちの希望の光を、他ならぬあなたが灯してください。

○「キッズサポーター」の会員資格：

・活動説明会に1回ご参加ください。
　＊5・7・9・11・1・3月の第4日曜日（10時から2時間）に開催します。
　＊継続会員の方には免除制度があります。
・年3,000円以上をご寄付ください。

○「キッズサポーター」の会員特典：

・クリスマス会、作品展示販売会のボランティアにご参加頂けます。
・レッスンボランティアにご参加頂けます。
・活動報告書・活動計画書をメール配信します。
・こどキャラポストカードを進呈します。
　＊活動説明会ご参加者のみ

●さらに「プレミアム キッズサポーター」を募集します。

この「プレミアム キッズサポーター」は、キッズサポーターの会員資格に下記のいずれかのご支援を加えて頂くと、子どもたちと作ったキャラクター「こどキャラ」の中からお好きなイラストを1年間無料でご利用頂ける使用権を進呈します。例えば、年12,000円のご寄付の場合、毎月1,000円をクレジットカードから自動引き落としされる寄付システムもあります。子どもデザイン教室のホームページから簡単にお申し込み頂けます。年賀状や待ち受け画面にぜひご利用ください。

○「プレミアム キッズサポーター」の会員資格：
「キッズサポーター」の会員資格に加え、下記の**いずれか**のご支援をお願いします。
・年12,000円以上のご寄付
　＊月1,000円以上のクレジット決済が可能です。
　＊クレジット決済の場合はキッズサポーター年会費の3,000円を含みます。
・年12,000円以上の物品ご提供
・年12時間以上のボランティアご参加
　＊ただしイベント以外の実務労働をお願いします。
・年4人以上のボランティアか受講生の獲得

○「プレミアム キッズサポーター」の会員特典：
お好きな「こどキャラ」の使用権を進呈します。
　＊12,000円相当ごとに1点ご使用頂けます。
　＊ご利用期間は入会時から1年間です。

養育支援：子どもサポートホーム（個人事業）

●なぜ児童問題に関わり始めたのか？

思えば1992年当たりから、自分の人生の終着点を考えてきました。それまでずっと『金こそすべて』で生きてきたものですから、嘘もついたし、ずるいことも一杯してきました。一方で『誰の役にも立ってないな〜』という空虚感もずっとつきまとっていました。2002年、自分史上最高収益を上げた年、毎日1kgずつ体重が減り、最後には動けなくなり病院に担ぎ込まれました。お金よりも健康が大事であることをそのとき初めて知りました。こんな当たり前のことに気づくのに41年もかかりました。そのとき、お医者さんにこう言われました。『あなた、もう少しで死ぬところでしたよ。どんな生活をしてたんですか？（略）これまでの40年を振り返って、これからの40年を生き直してみませんか？』と。そのとき、自分の人生の新しい目標を見つけました。誰かの役に立つ人生で終わらせたい。そう思うようになりました。私はもともと子どもの「可能性」が大好きです。世の中には生まれてきたかったのに、生まれてこれなかった子どもがたくさんいます。にもかかわらず、せっかく生まれてきたのに『生まれてこなければよかった』と思っている子どももたくさんいます。これは悲しいことです。子どもたちには『生まれてきてよかった』と思ってほしい。そう切に願います。なぜなら、子どもは可能性そのものだからです。子どもは未来から預かった「希望」だからです。

●なりわいで生きる。

一転して、本音も吐露します。人生80年時代で、私も老化する体と向き合い、何かをして生きていかねばなりません。『さて何かいい方法はないものか？』そう考えたとき、生活と仕事を一つにすればいいことを2007年頃に思いつきました。それが「なりわい」です。「なりわい」とは、生活が仕事であり、仕事が生活であるという働き方です。生活を充実させることで仕事が豊かになり、仕事を充実させることで生活が豊かになります。これほど効率のいい生き方はありません。なぜなら誰もがご飯を食べ、洗濯をし、お風呂に入り、寝るのですから。この生活の基本を多くの人がとても疎かにしています。子どもと晩ごはんを『おいしいね』なんていいながら生きてゆけたら、どんなに素晴らしいでしょう。しかも、その子の人生の一端を担ってゆけるのなら、これ以上素敵な仕事はありません。価値をお金だけで判断する人には分かりにくいかも知れません。しかし、人、物、事の価値を計る物差しはお金だけではありません。それは時間であったり、クオリティであったり、どう感じるかであったり、どう生きるかであったりします。

●ファミリーホームへの想い

資本主義社会は競争社会です。力を出せる人にはいいが、力を出すことができないひとには不便な社会です。資本主義社会はゲームみたいで面白い社会ではありますが、常に誰かと競争しなければならない、総じて効率の悪いレッドオーシャン（血で血を洗う世界）です。50を過ぎ、80歳になる自分を想定したとき、私はブルーオーシャン（競争のない独創の世界）で暮らしたいと願います。こうして私は2018年春にファミリーホーム（旧称：小規模住居型児童養育事業）の設立をめざす決意をしました。家族の合意が得られず、一度は断念した夢でしたが、人にはどうしても諦めきれない夢があります。私自身、子どもたちに『世の中に失敗はない。あかんかったら、もう一回やり直したらええ』といつも言っています。幸い、子どもたちとの関係も良好です。夢は諦めない限り必ず実現しますし、私自身、今まで実現しなかった夢はありません。ぜひともこの夢を実現させたいと考えています。今､一緒に暮らしている子どもたちと、そして、今後巡り会うだろう子どもたちと素敵な未来を描いていきます。

●養育の内容

本年度は高校2年生と中学1年生の養育が何よりの生活の中心になります。2人の将来を見据えて、すべきことがたくさんあります。日常は小さな積み重ねですが、この小さな積み重ねが大きくなると、いいこともよくないことも増えていきます。そういう小さな積み重ねを実体験することで養育技術を会得し、目標であるファミリーホームの準備を進めていきます。

子どもの養育事業は、プライバシーや利害関係の問題があってなかなかお伝えしづらい部分があります。また、毎日の暮らしというのは、ごはんを食べて、学校に行って、テレビをみて、勉強をして、笑ったり、けんかしたり、また、お風呂に入って、寝て、という何気ないできごとの積み重ねです。しかし、そうした何気ない毎日を積み重ね、健康で、安全で、怪我や病気のない日々を守っていかねばなりません。おとなも子どもも時にしんどくなることもあるでしょう。しかし、偶然、一緒に暮らすことになったこの「偶然」に感謝して、家族で力を合わせて、明るく、楽しく、より健康な毎日を送っていきます。

●養育の目標

大阪府の里親委託率は6.6%です。全国平均の14.8%の半分以下です。大都会だからという意見もありますが、大阪府より住宅事情の厳しい東京都は12.1%です。愛知県も13.6%です。一方で虐待の相談件数は大阪府が1位の7,646件です。東京都は3位で4.450件、愛知県は8位で1.970件。大阪の深刻な状況が浮かび上がります。

私の養育支援の大きな目標に社会的養護の啓発があります。社会的養護は、家族という個人的な部分と社会という公的の部分が複雑に絡み合います。さらにプライバシーや利害関係の問題もあります。その結果、親と暮らせない子どもたちの問題を社会が知る機会が少なく、認知されにくい面があります。しかし、こうした問題をたくさんの方が知り、知った人がまた誰かに伝え、その内の誰かができる範囲で関与する、そんな社会が望ましいと思います。この点からも、私自身が養育技術をマスターし、里親の普及と新しい家族の形の提案を社会に投げかけていきます。

●ファミリーホーム設立計画に着手

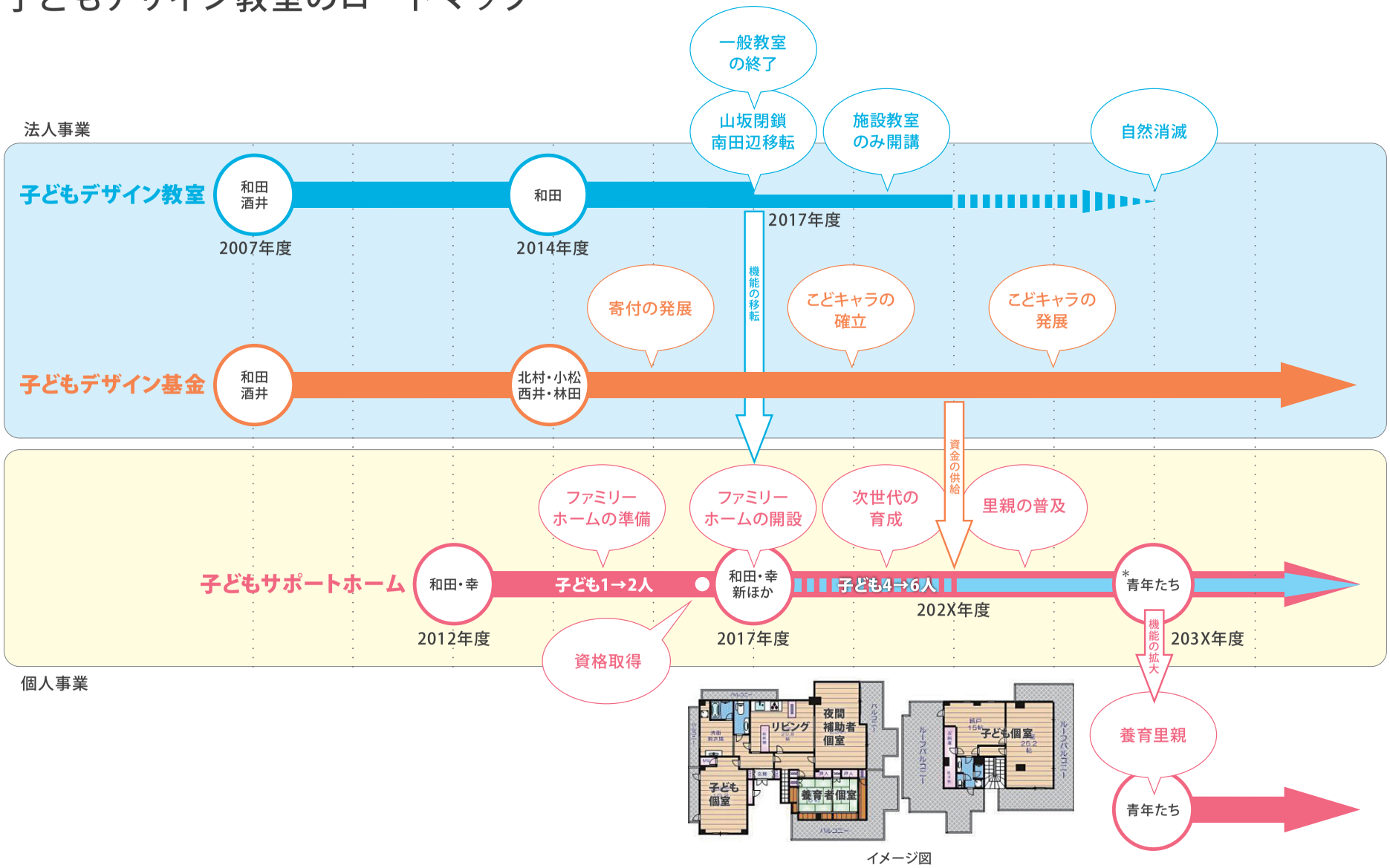
2007年の設立当初から、子どもデザイン教室のゴールはファミリーホームの設立でした。1〜2時間のレッスンでは、親と暮らせない子どもたちの枯渇するニーズを満たすことはできない、その想いが原点でした。ファミリーホームとは、5〜6人の親と暮らせない子どもたちと3人以上の養育者が、家庭的な環境で生活を共にする福祉施設です。

しかし、設立当初はありもしない理想でした。何より、私自身の家庭という厳しいハードルがあり、何度か断念していました。しかし、2015年度の活動テーマを「ファミリーホーム設立の計画立案」とします。計画では2017年度の設立をめざします。私と志を共にする人たちと協議を重ねながら、今後、基本計画を進めていきます。格安物件のご紹介やご提供、資金のご寄付、人的なご協力の募集もします。皆さんのお力添え、ご支援を心から期待しています。私の夢にぜひ力を貸してください。どうぞよろしくお願いします。

○設立計画

・開設：2017年度
・場所：東住吉区・住吉区・阿倍野区
・養育人数：4→6人
・事業者：和田隆博・幸・新登李ほか4人
・事業規模：300㎡

子どもデザイン教室のロードマップ



イメージ図

＊青年たち＝里親委託解除後・児童養護施設退所後の青年

平成27年度 活動予算書

特定非営利活動法人子どもデザイン教室

収入の部				支出の部		
	前期繰越金		3,472,795	1	事業費	
					子どもデザイン教室事業	0
1	受取会費				子どもデザイン基金事業	200,000
	会員受取会費		1,887,000			
				2	管理費	
2	事業収益				人件費	670,000
	子どもデザイン教室事業		0		法定福利費	145,000
	子どもデザイン基金事業		800,000		外注費	326,000
					荷造運賃	14,000
3	受取助成金				広告宣伝費	216,000
	補助金		78,000		交際費	27,000
					会議費	25,000
4	受取寄付金		978,000		旅費交通費	123,000
					通信費	251,000
5	その他の収益				消耗品費	850,000
	受取利息		500		水道光熱費	108,000
					新聞図書費	16,000
					諸会費	32,000
					支払手数料	248,000
					地代家賃	972,000
					支払利息	36,000
					次期繰越金	2,957,295
	合　　計		7,216,295		合　　計	7,216,295

上記の通り相違ありません　　会　計　　和　田　隆　博

平成26年5月29日　　監　事　　今　中　博　之